

研究データの共有・利活用の重要性

- 研究データの共有・利活用により、研究者間・専門分野を超えた知の創造を加速させ、データ駆動型研究による研究プロセスの変革及びイノベティブな成果の創出が期待されている。
- 国際的に、オープンサイエンスの進展、データ提供の論文掲載要件化、出版社やIT企業によるビジネス対象としての研究データへの関心の高まりなどが起きている。
- これらに対応するため、戦略的な研究データの共有・利活用及び管理が重要である。

取り組むべきこと

- 研究データは戦略的資源であり、その共有が論文執筆と同等以上の価値を持つという基本的認識を共有する。
- 研究データの共有・利活用及び管理を支援する国全体としての基盤・体制の整備にあわせ、学术界全体で研究データの共有を促進し、データ駆動型研究を推進する流れを創成する。
- 学术界全体で研究プロセスの変革を早期に引き起こしていくことで、低下し続ける日本の学術研究成果のプレゼンス回復を目指し、国際競争力・協調力の向上を図る。

